(19)日本国特許庁（ＪＰ）　(12) 公開特許公報（Ａ）　(11)特許出願公開番号
特開2000－86409
（P2000－86409A）
(43)公開日　平成12年３月28日(2000.3.28)

(51)Int.Cl.7	識別記号	ＦＩ	テーマコード＊(参考)
Ａ０１Ｎ　37/06		Ａ０１Ｎ　37/06	４Ｈ０１１
63/00		63/00　　Ｂ	

審査請求　有　請求項の数２　ＦＤ　（全 ４ 頁）

(21)出願番号　特願平10－280474

(22)出願日　平成10年９月17日(1998.9.17)

特許法第30条第１項適用申請有り　平成10年３月21日発行の「第42回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨集」に発表

(71)出願人　591286568
農林水産省国際農林水産業研究センター所長
茨城県つくば市大わし１－２
(72)発明者　巽儀田　和典
茨城県つくば市松代５－６－４－703－１
(72)発明者　服部　誠
茨城県つくば市小白硲677－199
(72)発明者　若村　定男
茨城県つくば市松代５－16－527－203
(74)代理人　100074077
弁理士　久保田　藤郎　（外１名）

最終頁に続く

(54)【発明の名称】　ヒメイチモジマダラメイガの性誘引剤

(57)【要約】
【課題】　農作物害虫であるヒメイチモジマダラメイガを防除するため、大量の雄成虫を捕獲したり、雌雄の配偶行動を攪乱するのに有効な性誘引物質を開発すること。
【解決手段】　（Ｚ）－１１－テトラデセニル＝アセタートと（Ｅ）－９－ドデセニル＝アセタートの混合物を有効成分として含有することを特徴とするヒメイチモジマダラメイガの性誘引剤。